

協会独自のリサイクル処理補助制度（熊本地震被災地支援と環境対策）を拡充

塩化ビニル管・継手協会

(1) リサイクル処理補助制度の拡充

- ①被災自治体（熊本市、宇城市、菊池市、菊陽町、御船町など）の要請を受け、下水道用に加えて、家屋の解体で発生した塩ビ管を対象に追加した。
- ②復旧工事業者が、中間処理業者を介さずに直接リサイクル処理業者に持ち込む場合も対象に加えた。
- ③補助対象事業者のインセンティブを高めるため、各事業に対する補助額を増額した。特に、復旧工事業者が、協会が認定した業者に持ち込んだ場合、その補助額を増額した。



家屋の解体で発生した塩ビ管（熊本市内の仮置き場）



復旧工事業者から直接持ち込まれた塩ビ管

(2) リサイクル処理補助制度の周知・PR

①下水道展

下水道展（平成29年8月1日～4日に東京ビックサイトで開催）に、「くまモン」シールを貼ったリサイクル塩ビ管を展示。展示品を目にした来場者からは、「今後の災害対策の参考にしたい」（自治体関係者）、「いろいろな場所で使われるといいですね」（一般来場者）などの声が寄せられた。

②水道展

水道展（平成29年10月26日～27日に高松で開催）に、リサイクル塩ビ管を展示。「水道管においてもリサイクルができるのが分かった」などの声が寄せられ、来場者の関心を集めた。



下水道展での展示



水道展での展示

(3) リサイクル処理補助制度への申請状況（平成29年12月15日現在）

復旧工事業者8社、中間処理業者2社、リサイクル処理業者6社の計16社が申請済みもしくは申請準備中。